

# OGAWA ISSEI News

小川一成  
後援会会報

2007 7月号

発行 小川一成後援会  
〒302-0125 守谷市高野646  
TEL.0297-48-1064

## 平成19年第1回定例会 予算特別委員会

3月19日



### 『4期目を迎えて』

茨城県議会議員 小川 一成

昨年、私は茨城県議会議員として、4期目を迎えました。お世話になりました。

4期目の活動も順調にスタートし、県政の諸問題に全力で取り組んでおります。

昨年6月議会で取り上げた全日本大学女子選抜駅伝競走については、タスキを渡すことができ、見事1月8日、つくば市で実現する事ができました。大きな仕事を成す事ができたと思っております。

さて、私は現在、議会運営委員長の任に当たっております。4年に一度

の選挙が行われた後の議会運営委員会は、向こう4年間の議会における全

てのルールを取り決めるなければならぬ最も重要な役割をしなければなりません。更に議会が開

かれる時は、本会議場における全ての流れを決定するのにもこの委員会の仕事です。それだけにやりがいのある重要なポストです。

常任委員会は、環境商工委員に所属し環境問題、我々の飲料水である霞ヶ浦の水質浄化問題、中小企業の活性化の問題に取り組んでおります。

つくばで  
初開催

## 女子駅伝の 生みの親は小川県議

予算特別委員会にて橋本知事答弁



予算特別委員会にて、左 橋本知事、右手前 小川県議

平成19年の第一回茨城県議会  
予算特別委員会が開催され、  
去る3月19日に小川一成県議会議員が  
橋本知事に対し、予算についての  
質疑をしました。

### 全日本大学女子選抜 駅伝競走について

小川県議 今年1月8日に開催された全日本大学女子選抜競走ですが、大会運営もスムーズに行われ、盛会裏にできたのではないかと思います。私が昨年の6月に文教治安委員会の中でこの問題を取り上げ、つくば市での開催に向けた強力な働きかけを学連にしたかどうかと提案しました。

このイベントは県が主催の行事ではないにもかかわらず、橋本知事には迅速に動いていただき、開催にこぎつけたものです。  
本県開催となったこの大会について、知事の評価と感想を伺います。  
橋本知事 この大会が本県で開催できましたのは、まさに小川委員から、ベストとも言えるタイミングで適



全日本大学女子選抜駅伝競走・つくば中央公園をスタート



切な情報をいただいたことが大きく貢献しているところでございまして、それに基づきまして、私どもの方も早速迅速な対応ができたということ、まさに小川委員が今回の本県開催の生みの親とも言える存在でございまして、改めて御礼を申し上げます。2時間半のテレビ放映により本県およびつくば市のPRはもとより、スポーツ振興の役にもたつてくれたのではと考えています。



**教員の採用前  
研修について**

**小川県議** 私は、昨年6月の議会で教員の採用前研修について「早急に実施すべきだ。」と申し上げました。

大学で教職課程を取り、3週間の実習をするだけで教員になる準備が充分だと考える人は一人もいない。

高度な技術と高い見識を持った教師を提供することは県の義務だと申し上げました。その後の取り組みについて伺いたい。

**稲葉教育長** 早速今年1月から2月にかけて実施いたしました。

新規採用の先生方のほとんどが参加し、いずれも「参加して良かった。」「4月からスタートすることについて不安がいったがこの研修で随分解消された。」というようなお話しがたくさんあり、議員提案のように入力して良かったと思っております。さらに内容を充実させたいと考えています。

**霞ヶ浦浄化  
問題について**

**小川県議** 霞ヶ浦と利根川を結ぶ利根導水路については、昭和60年に着工し、平成8年3月に完成して以来、11年余りたっておりますが、いまだに運用されておられません。

今日までどのような取り組みをしてきたのか、なぜ運用できなかったのか、お尋ねします。18年度には試験通水の予算がついたにもかかわらず、なぜ実施

できなかったのか、今後の見直しも合わせてお尋ねします。

**麦島企画部長** 国土交通省では、平成9年より漁業補償交渉をすすめております。が、利根川に関連いたします7漁協のうち、6漁協は漁業補償契約締結しました。試験通水については19年度中には全力で取組み実施したいと考えております。

**小川県議** 霞ヶ浦の砂利採取問題についてですが、私はこの問題は平成8年よりとりあげて早期にやめさせるべきだというふうに、申し上げてきました。自然の湖底を奪っていくような施策はするべきではない。早期にやめさせるよう、国に働きかけていくべきでは。

**替地生活環境部長** この砂利採取につきましては採取という行為が水質にどのような影響を与えるのか、少なからずの影響を懸念しているわけでございます。

湖内については、ご承知のように、直轄河川ということになります。国の方にもいろいろ御相談をされているところでございます。

次の計画は平成20年度から平成22年度までになります。その計画につきまして、平成19年度に国において検討されるということになっておりますので、県といたしましては、水質条件のためにはあらゆることに取り組むという強い意志のもとに、縮小を国に働きかけて参りたいと考えております。

**小川県議の地域活動報告**

**降雹視察**

4月下旬から5月上旬にかけて各地で降ひょうによる農作物の被害が発生し、その被害は梨や葉たばこを中心に14億円に上りました。

5月8日に早速、自民党県議団として梨の主生産地である関城町を中心に現地に入り被害の大きさをつぶさに視察いたしました。その後、我々は直ちに被害農業者の安定を図る為、災害対策特別措置法を適用すべきである事、利子補給等に対する助成を行う事等を知事に提言。その結果5月21日に実施されました。

この様な事は時間との戦いであるので早期に対応することが出来てよかったと思っております。



梨の被害状況を見る小川県議

JA職員より説明を受ける県議団



**COOLBIZ**

**クールビズ  
県議会に於いて**

クールビズ3年目を迎え、県議会が6月12日からノーネクタイを初めて導入した。

委員会などでのノーネクタイの導入は初めてだ。過去2年間は「議会の品位」などに配慮し、上着に限って着用を免除していたが6月11日の議会運営委員会で（委員長 小川一成）提案し直ちに翌日から実施した。地球温暖化が年々深刻になる中、適正冷房にて各委員会が行われている。県庁職員にも好評である。

**姉妹都市  
マインブルク市民来市**

ホップの生産で有名なドイツのマインブルク市。そのホップを、アサヒビール株式会社茨城工場に輸出している縁で、1990年に守谷市と姉妹都市関係を結んだ。以来、文化・スポーツ・人とさまざまな形で交流を深めている。今回、マインブルク市のエッガー市長をはじめ、14名の市民の方が守谷市を訪問。市国際交流協会の方々との交流を深めた。



ご意見・ご要望等がございましたら、下記へご連絡ください。

**小川一成後援会事務所**

〒302-0125 茨城県守谷市高野646

TEL.0297-48-1064 E-mail: issei@alpha.ocn.ne.jp

●所属委員会

環境商工委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員長